

三重県議会議員 小林正人

県政レポート

vol.27

facebook

皆様からの「いいね!」を
お待ちしております

<https://www.facebook.com/masato.kobayashi.9421>



ご挨拶

早春の候 皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年四月に三期目を当選させていただいてから早や一年が経過しようとしております。この一年間は特に議会におきましては、会派の政策委員長として県民の皆様からいただきました請願・意見書等の処理、あるいは自民党会派として知事に対しての政策提言、議会運営委員会副委員長として議会改革への更なる取組みや円滑な運営ができるよう努めて参りました。また、担当の戦略企画雇用経済常任委員会では、まさに主所管である伊勢志摩サミット関連事業の精査やポストサミットへの取組み、マイスの誘致、インバウンド誘客対策、それらにまつわる様々な産業の活性化の為、活発に議論を積重ね取組んでまいりました。

伊勢志摩サミットは約500億円、ポストサミット含めて全体では約1,000億円の経済効果があると言われております。これは前回の洞爺湖サミットを大きく上回る規模であり、何とか県全域にその効果が波及されるよう今後も様々な取組みに尽力して参りたいと思います。



戦略企画雇用経済常任委員会にて
提出議員を代表し議定議案の提案説明

また、サミットをきっかけに三重の観光産業(27年度の年間県内宿泊者数は約800万人でその経済効果は約4,000億円)にも力を入れ、次の時代(人口減少社会)の財源対策にも繋げていかなくてはならないと考えております。一方で地元においての活動も引き続き取組ませていただいております。特に堀切川改修や堆積土砂の撤去、中の川河床低下対策や護岸整備、白子港湾整備、総延長約12キロ堤防大規模改修の為の県・国に対して要望、県管理道路維持補修や新規事業化へ向けての取組み、また福祉面においては介護、とりわけ施設内増床や福祉用具・住宅改修・生活援助等、原則自己負担にならないような取組み、障がい者雇用・支援、保育子育て支援の充実、医療看護師不足や処遇改善の問題等々まだまだ道半ばのものも多々ありますが、与党議員の強みも活かしながら今後も精一杯頑張っていきたいと思っております。

最後にこのレポートを通して、皆様からの県あるいは県議会に対しご意見ご要望いただけることをお願いいたしましてご挨拶とさせていただきます。時節柄、まだまだ寒い日が続きます、お身体には充分ご留意ください。

三重県議会議員 小林 正人

平成28年度地域医療提供体制の確保に向けた取り組み事業

地域医療構想の策定と実現

医療審議会費

予算額 8,192千円

地域医療構想の策定とその実現に向けて、地域医療構想調整会議において関係者による検討・協議を行います。

回復期病床整備事業費補助金

予算額 119,459千円

急性期から回復期、慢性期まで、患者の状態に合った適切な医療提供体制を構築するため、回復期病床等、地域で不足する医療機能を整備する取組みを支援します。



医師・看護師等の不足・偏在の解消

医師確保対策事業

一部新規事業

(H27年度2月補正(その1)含むベース)予算額 672,106千円

予算額 667,106千円

医師の不足・偏在の解消を図るため、医師修学資金貸与制度の運用、初期研修医の定着支援、女性が働きやすい医療機関認証制度などの取組みを通じて、救急医療を中心的に担う若手医師等の県内定着を進めます。

医師等キャリア形成支援事業

予算額 73,662千円

三重県地域医療支援センターにおける修学資金貸与と医師等の若手医師を対象とした三重専門医研修プログラムを運用すると共に、医療分野における国際連携等に取組みます。

看護職員確保対策事業

一部新規事業

予算額 199,189千円

多様な保育ニーズにも対応できる病院内保育所の設置に向けた支援の充実を図るとともに、看護職員をはじめとする医療従事者の離職防止、復職支援を図ります。また、助産師出向システムの構築を進めます。



看護師不足について意見交換を度々行いました

地域の救急医療体制の整備

救急医療体制推進・医療情報提供充実事業

予算額 203,676千円

救急医療機関の情報提供を行う救急医療情報システムを運営するとともに、時間外の診療応需を行う初期医療機関に対する支援を行い、地域における救急医療体制の整備を推進します。

周産期医療体制強化推進事業

予算額 170,919千円

周産期母子医療センターの運営や設備整備を支援するとともに、周産期医療ネットワーク体制の構築、新生児ドクターカーの運営行い、安心して産み育てることができる環境づくりを推進します。

医療安全支援事業

一部新規事業

予算額 18,905千円

医療安全支援センターにおいて医療に関する相談窓口事業を実施するほか、医療事故調査制度の施行もふまえ、県内医療機関において必要となる設備整備に対する支援や県内支援団体の体制整備を図ります。



鈴鹿中央病院にて看護師の方々との勉強会

平成28年度 河川改修・海岸堤防整備事業の主なもの

河川堆積土砂の撤去

予算額 655,000千円

河川における流下能力を回復し、洪水時の被害を軽減するため、「箇所選定の仕組み」を活用して、堆積土砂の撤去を進めます。

河川管理施設の地震対策

予算額 371,651千円

河川河口部の大型水門やダムゲートのゲートに等について、地震発生後もその機能を維持するため、耐震対策を進めます。

【大型水門の耐震対策】 事業箇所 ・堀切川(鈴鹿市)
・前川(志摩市)
など 6河川



鈴鹿市海岸隣接地域に居住されている方々の代表と共に県に対し堤防・河川改修整備の要望

【ダムゲートの耐震対策】 事業箇所 ・宮川ダム(大台町)

施設整備の推進 河川改修事業

予算額 3,083,521千円

地域の治水安全度を向上し、洪水被害を軽減するため、川幅を拡げるための堤防整備や治水上支障となっている橋梁等の改築を進めます。

海岸堤防の地震・津波対策

一部新規事業

※H27年度2月補正(その1)含む
予算額 2,772,052千円

海岸堤防について、地震時の揺れや液状化による変状を防止し、その機能を維持するための地震対策を進めます。

また、「海岸堤防強靱化対策」として、地震後に来襲する津波が堤防を越流した場合にも背後地の被害が軽減されるよう、海岸堤防を「粘り強い構造」とする対策に着手します。

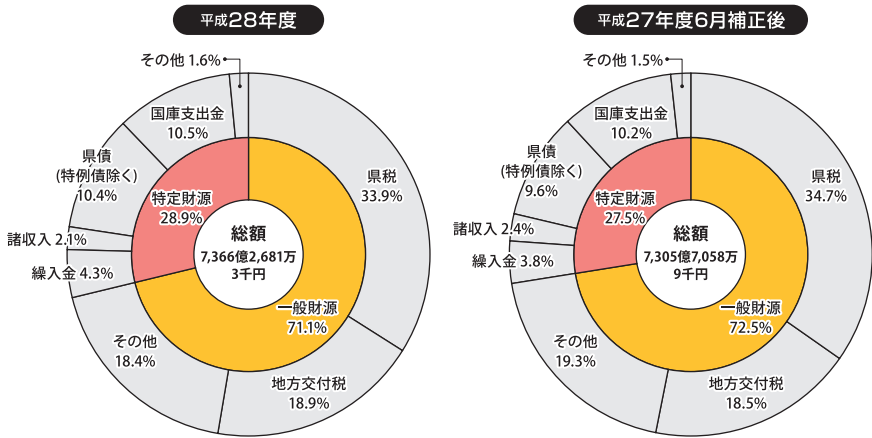


市内の侵食対策要望箇所の一例

平成28年度 当初予算グラフ (前年度比にて表示しています)

一般会計性質別歳入予算の構成割合

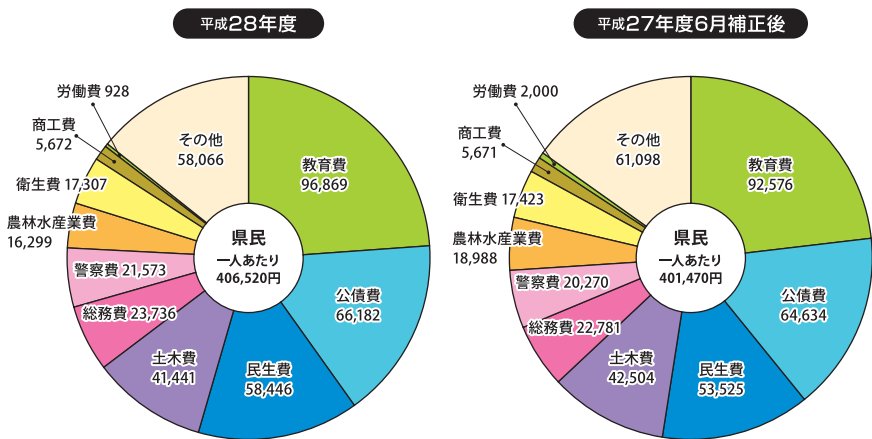
(単位:%) 四捨五入のため合計に合わない場合があります。



平成28年度当初予算(一般会計)は前年度6月補正後予算より61億円(0.8%増)の7,336億円となっております。ポイントとしましては県税収入が対前年比39億円(1.5%減)で2,495億円、地方譲与税が対前年度22億円(7.1%減)の289億円と減少傾向にあるものの、法人事業税については円安や原油安が引き続いていることにより法人業績が好調なことに加え、税率引き上げの影響から対前年度40億円(8.4%増)の521億円になったということ。また県債においても微減ではありますが、対前年度9億円(0.7%減)の1,175億円と毎年減少傾向にあります。

県民一人当たりに使われる予算額

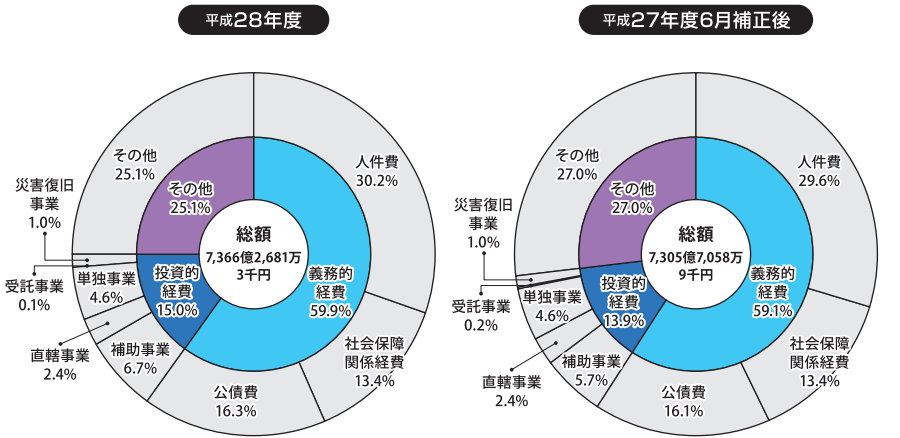
(単位:円) 四捨五入のため合計に合わない場合があります。



人口減少や少子化高齢化が加速する昨今、年々教育費、民生費が増加、一方で労働力不足(生産人口減)の中、基礎財源の捻出が課題。

一般会計性質別歳出予算の構成割合

(単位:%) 四捨五入のため合計に合わない場合があります。



性質別歳出予算では特に義務的経費、人件費が対前年度65億円(3.0%増)の2,227億円、社会保険関係費が11億(1.1%増)の988億円、公債費が23億円(2.0%増)の1,201億円と年々増加傾向にあります。

● 予算委員会で28年度予算審議後理事のメンバーで内容の再確認



平成27年度に提出された請願で採択された主な事項一覧

所轄委員会	件名
健康福祉病院	子ども・子育て支援新制度並びに社会福祉法人制度について
健康福祉病院	介護福祉士等修学資金貸付制度の再開を求めることについて
教育警察	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めることについて
教育警察	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めることについて
教育警察	防犯対策の充実を求めることについて
環境生活農林水産	私学助成について
健康福祉病院	介護保険制度における軽度者への福祉用具貸与・住宅改修の継続を求めることについて

※これら採択された請願で国策のものに関しては議会から国に対し意見書を提出します。



● 政策担当者会議で自民党政策委員長として団体から請願内容の説明を受ける

伊勢志摩サミット関連予算の概要 ~平成28年度当初予算【平成27年度2月補正予算含む】~

※()書きの予算額は27・28年度2年分計

伊勢志摩サミットの成功に向けて、市町、企業、関係団体等と連携し「開催支援」に取り組むと共に、サミットを一過性に終わらせることなく、開催後の地域活性化に繋げるため、「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」を柱に、全県的な取組を推進します。

総計 2,629,026千円

(9,330,941千円)

伊勢志摩サミット推進局分

計 472,687千円 (805,653千円) ※県民会議における市町負担金分を含む

●開催支援

計 88,472千円 (125,504千円)

各国首脳等の歓迎・交流 27,457千円
 インフォメーション機能の整備 12,018千円
 報道関係者等の歓迎・支援 47,665千円
 等

●おもてなし

計 58,579千円 (110,466千円)

クリーンアップ活動 48,078千円
 花いっぱいおもてなし運動
 サミットフォーラムの開催 4,501千円
 等

●明日へつなぐ

計 144,204千円 (160,144千円)

ジュニア・サミット参加者との交流等 25,110千円
 国際理解・国際交流プログラム等 2,282千円
 大学生・留学生との交流事業(※) 10,239千円
 サミット記念館の設置(※) 21,056千円
 記録誌作成(※) 10,436千円
 等

◎今後新たにポストサミット事業に取り組むための費用として66,000千円を確保
 (※)は、サミット終了後の事業

●三重の発信

計 122,451千円 (280,992千円)

三重県情報館(仮称)の設置・運営 36,200千円
 海外プレスツアー、プロモーション 55,044千円
 県内・県外イベントでのPRポスター等によるPR 15,746千円
 動画CMの放映 5,778千円
 等

開催に向けた安心・安全対策

計 2,156,339千円 (8,525,288千円)

テロ等の対策【警察本部】 1,080,970千円
 道路除草等の周辺環境整備事業【県土整備部】 721,000千円
 消防防災関係サミット対策本部【防災対策本部】 353,984千円
 食の安全食品検査事業【健康福祉部】 7,086千円
 災害医療体制強化推進事業【健康福祉部医療対策局】 5,848千円
 等

【参考】ポストサミット事業予算総額 284,611千円 (2月補正を含む。内14,777千円は、上記の県民会議事業内で計上。)

県政報告会

平成27~28年度にかけて県政報告並びに意見交換会をおこないました。たくさんの方々にお越しいただき有意義な会になりました。ご参加いただきました皆さま、誠にありがとうございました。



● 若松地区にて県政報告会 ● 西部地区にて県政報告会 ● 神戸地区にて県政報告後の記念撮影

平成28年度 永年訴え続けてきました動物愛護センターの整備がようやく行われる事になりました。(建設費・予算額約4億7千万円)



●お問合せ
 〒510-0241 鈴鹿市白子駅前9-20 すずかのぶどう内
 ●お申し込み
 〒510-0241 鈴鹿市白子駅前9-20 すずかのぶどう内
 ●お問い合わせ先
 d-kaihou@onix.ocn.ne.jp
 090-1786-0791
 http://greennetmie.web.fc2.com/



ボランティアの方々と動物愛護問題に取り組んでまいります。

編集・発行者 小林正人事務所

住所 〒513-0806 鈴鹿市算所町1240
 TEL&FAX 059-370-5333
 Web masatoweb.jp

県政に対して、ご意見・ご質問がありましたらお気軽にご連絡ください

